

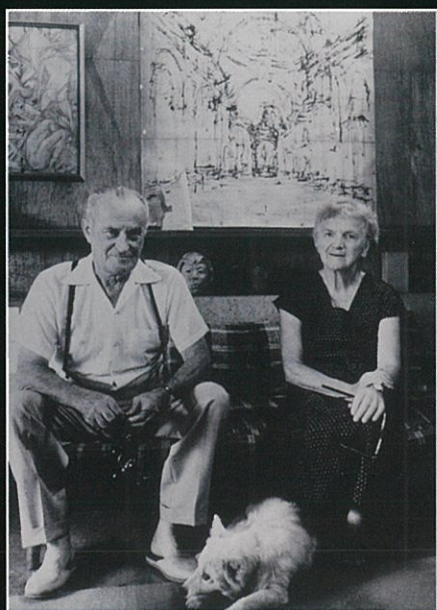
～アントニン・レーモンド生誕130周年記念講演～ 建築家「アントニン・レーモンド」が日本に遺したものの



イタリア大使館別荘 日光



ノートルダム清心女子大学 岡山



日時 2018年6月22日(金)17:00～19:00
 会場 朝日新聞岡山総局3階会議室
 岡山市北区野田屋町1-12-11
 (柳川交差点北100m / 駐車場なし)
 定員 先着60名 入場無料(申し込み不要)



リーダーズ・ダイジェスト東京支社

講師 **三浦 敏伸** 株式会社 レーモンド設計事務所 代表取締役



1942年 広島県尾道市生まれ
 1966年 日本大学工学部建築学科卒
 1967年 (株)レーモンド建築設計事務所に入社
 1993年 取締役役に就任、現在に至る

—社会における活動等—

- APEC アーキテクト
- (社)日本建築家協会 登録建築家
- (社)東京恵比寿ロータリークラブ会員
- (社)日露貿易協会理事
- 前・日本大学大学院 工学研究科建築学 講師

【最近の主な設計作品】

茨城県総合教育研修センター、岩谷産業珠海工場及び中山工場(中国)
 茨城県立水戸高等養護学校、北里研究所メディカルセンター病院
 茨城県取手市立取手小学校、日本大学通信教育学部本館
 茨城県つくば養護学校、広島女学院高等学校
 茨城県守谷市立守谷小学校、日本大学豊山女子中学校

建築家アントニン・レーモンドの建築について

建築家アントニン・レーモンドは1919年に旧・帝国ホテルの設計監理業務のために、師である建築家フランク・ロイド・ライトと共に来日した。1921年2月に、優れた日本文化に傾倒したレーモンドはライトの下を離れ独立し、星薬科大学、東京女子大学、霊南坂の自邸、1928年にはノートルダム清心女子大学を設計した。その後も軽井沢聖パウロ教会、銀座教文館ビル、南山大学、リーダーズ・ダイジェスト東京支社、国際キリスト教大学、群馬音楽センター等数多くの設計を行い、1976年に88歳の生涯を終えたが、日・米・欧三つの異質な文化を架橋した偉大なる建築家であった。私がレーモンドに接した期間は9年ほどであったが、彼が提唱した哲学<我々の設計に対する原則は人間的尺度によってより単純に、より直截に、より経済的に心から創ることにある>という自然主義、構造意匠主義について、レーモンドの最後の弟子の一人として講演させていただきます。

主催 (公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会

後援 おかやま建築5会まちづくり協議会 [(一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、(一社)日本建築学会中国支部岡山支所、(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会、岡山建築設計クラブ] / 朝日新聞 岡山総局

問い合わせ先: 公益社団法人 日本建築家協会中国支部岡山地域会 TEL (086)233-1276

CPDプログラム認定講演会 2単位